

(昭和59年4月1日発行)

# かぬま

No.23



黄金コース6番ホール

## 鹿沼カントリー倶楽部

ゴルフ場 / 栃木県鹿沼市藤江町1545-2

☎ 0289(75) 2131 (代)

予約センター ☎ 0289(75) 3824 (代)

東京サービスセンター / 東京都中央区京橋 2-7-6 鹿沼ビル

☎ 03 (563) 1891 (代)

## 倶楽部事務局人事異動のお知らせ

謹啓 寒冷の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引立てを賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、今般、福島章夫が総支配人職を辞し、支配人として武山久（元鹿沼カントリー倶楽部及び鹿沼72カントリークラブ副支配人を歴任）、副支配人として遠藤三三男（前鹿沼72カントリークラブ副支配人）が就任いたしました。

何卒倍旧のお引立てご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

なお福島章夫は引続き専務取締役として社業に専念いたします。

まずはご挨拶かたがたお願い申し上げます。

敬 具

昭和59年3月1日

株式会社 鹿沼カントリー倶楽部

代表取締役社長 福 島 充

代表取締役副社長 福 島 文 雄

専 務 取 締 役 福 島 章 夫

謹啓 厳寒の候益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

私共兩名はこのたび鹿沼カントリー倶楽部支配人ならびに副支配人を拝命することになりました。

もとより浅学非才その器ではありませんが、全力を傾注して重責を果たしたいとお願いいたしております。

何卒皆様の温いご指導を賜わりますよう心からお願い申し上げます。

取敢えず略儀ながら誌面にてご挨拶申し上げます。

敬 具

昭和59年3月1日

株式会社 鹿沼カントリー倶楽部

鹿沼カントリー倶楽部

常務取締役支配人 武 山 久

取締役副支配人 遠 藤 三三男



## 宮本留吉先生のこと

プロ・キャディ委員 中村 忍

私が初めてクラブを握ったのは、忘れもしない昭和48年10月。鹿沼C・Cの北のイン、アウト。誰もが思うように、動かないボールを打つことなど簡単と侮どっていたが、結果は、惨々たるものだった。スコアは、確か130ぐらい。

そこで一大奮気。神田にある室内練習場（宮本留吉ニューゴルフクリニック）に、毎日のように顔を出し、打ちまくったのである。その一方、鹿沼C・Cへ、昭和49年入会。一時期は、年間100回も鹿沼に足をはこんだこともあった。要するに負けずぎらい、なのである。

最近のベストスコアは、4 オーバーの76。2年前、過疲が原因で意識不明、救急車で運ばれたことがあり、その時は、二度とゴルフは出来ないと思っただけに、このくらいのスコアで大いに満足している次第である。この体験以来、ものの見方が若干変わり、急がばまわれ、負けるが勝ちと思うようになってきた。

10年余になる私のゴルフ歴の中で、最も印象深かったのは、宮本留吉プロと一緒にラウンドできたことである。御承知のように、宮本プロは、日本オープン史上最高の6回優勝をはじめ、あらゆるタイトルを手中に収めたゴルフ界の大御所。私のような者がラウンドできることなど夢のような話で、緊張の余り前日は寝れなかったものである。

初ラウンドは、昭和53年。鹿沼C・C、南のアウトスタートである。ところが宮本プロは、最初のティーショットを、何と「チョロ」したのである。プロも人の子、と思うと私は必要以上の緊張がスーと抜けていった。

プロの名誉のためにつけ加えると、そのあとがすごい。2打目はウッド。低い弾道で真すぐピンに向っていく。スピんがかかっている、ピン手前1mでピタッと止まったのである。そのホール、バーディ。「最近のプロは高いボールがでるが、本当のスーパースターはナ、観衆の目の高さのボールを打つものだな」と言われたことを今でも鮮明に覚えている。

その後、プロとは何度も御一緒し、三鷹の御自宅までお邪魔し、ゴルフの話を伺っているが、尊敬の念はますます深くなっている。

この他、陳清水プロとも御一緒する機会を得たが、非常に礼儀正しく、我々アマもこうなければ、と痛感したこともあった。

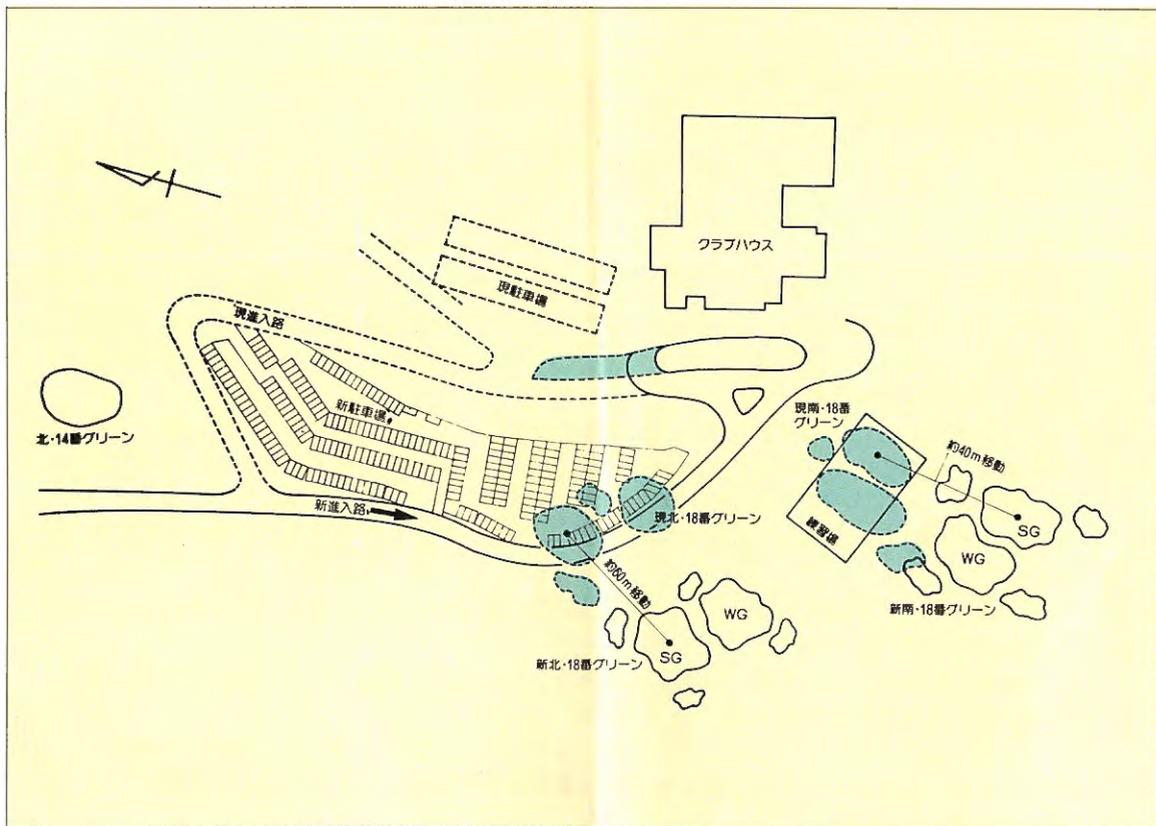
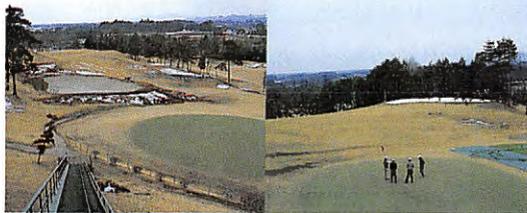
ゴルフは人生と同じようなもの、と常々思っているが、私にとってゴルフの達人である両プロと御一緒出来たことは、有形無形の財産となっており、つくづくゴルフを始めてよかったと思っている。

# コースだより

駐車場の拡張・練習場の建設工事を進めております。

すでにご案内の通り、本計画は、進入路の移設によって駐車場の拡張を図り、また南18番グリーンに移設によってクラブハウス近接地に練習場を建設しようというものです。(練習場の規模は、20打席・35mの予定です。)

なお、北18番・南18番については、グリーンの移設により若干距離が短くなりますが、ティーグラウンド移設、グリーンの高さ増などにより難度を調整いたします。



# 10数年ぶりの「雪難」

ご心配をおかけいたしました

1月中旬から3月中旬にかけ、計8回という記録的な大雪に見舞われ、当コースも約2ヶ月の間、雪景色の絶えない状態となりました。

写真のようにキャディをはじめ全社員総出で除雪を急ぎましたが、会員の皆様には何度かご迷惑をおかけいたしました。あらためて、お詫び申し上げる次第です。



▲読売新聞社のヘリも取材に。



# プレーのしおり

本年5月より、第3・第4日曜日とも「メンバーデー」とさせていただきます。

かねてより、土曜・日曜・祭日における会員のスタートご予約の円滑化につきましては、一昨年より第4日曜日を「メンバーデー（ビジターの入場をいっさい認めない日）」、とする等、ビジター入場を極力制限する方向で、種々方策を講じてまいりましたが、今般、さらにもう一段階、会員のスタートご予約を円滑化するため、本年5月より、第4日曜日に加え、第3日曜日についても、すべて「メンバーデー」とさせていただくことに決定いたしました。

メンバーデーの増設に伴いましては、当然ながら経営上かなりの収入減が見込まれますため、これまで、おいそれとは実施に踏み切る事ができかねたわけですが、すべてに優先して、まず「メンバーシップの確立」を図り、会員の皆様に満足していただけるクラブをつくる事が、長期的にみても必ずや経営面にもプラスになるとの判断に立ち、理事会ともご相談申し上げた上、あえて断行いたすことになった次第でございます。

メンバーデーの増設にあたり、当面の経営安定のカギが、「平日の入場者の増加」にかかっています事は、理事会・事務局側とも見解を等しくするところでございます。

いっそうの経営努力が求められる事は、もちろんでございますが、会員の皆様におかれましても、どうか今後共、平日の入場者増加のため、いっそうのご利用、またビジターご紹介の程、格段のご配慮ご協力を賜りますようお願い申し上げます次第でございます。

とり急ぎ、お知らせとお願いまで申し上げます。

本年5月1日より  
料金の一部を改定させていただきます。

本年5月1日より、ビジター入場抑制施策の一環として、土曜・日曜・祭日のビジターフィーを¥13,000（現行 ¥12,000）に改定させていただく旨、理事会に諮り、ご承認を得ました。何卒趣旨ご理解いただき、ご了承下さいませようお願い申し上げます。

また、同時に、永年据置いてまいりました「施設整備費」を¥1,550（現行¥1,400）に改定させていただく事になりました。

老朽化したクラブハウスの改造計画にもすでに着手いたしており、施設の整備、改善には今後もいっそう力を入れてまいりますので、あわせてご了承下さいませようお願い申し上げます。



なお、同時に無記名法人会員（会員数63名）のグリーンフィーにつきましても、土・日・祭日の場合 ¥10,000（現行 ¥8,000）、平日の場合 ¥4,000（現行 ¥3,500）とさせていただくことになりましたので、あわせてご了承下さいませ。

本年5月～7月は無休にて営業いたします。月曜日にも、ぜひご利用ください。

例年5月～7月のシーズン中には、会員の皆様より、とくに月曜日の大型コンペ開催のご希望ご紹介が多く、ここ数年、何度か定休日貸切りという形でご利用いただいてまいりましたが、本年はとくに数多く同様のご要望が寄せられておりますため、本年5月～7月のシーズン3ヶ月間につきましては、定休日をすべて返上いたしまして、無休にて営業させていただくことになりました。

いずれの日も、キャディ付けその他通常営業通りのサービス体制でお迎えいたします。この機会に、とくに、これまで月曜日にプレーをご希望されておりながらご利用いただけなかった皆様には、ぜひお出かけ下さいますよう、お知らせ申し上げます。

5月5日は鹿沼市民ゴルフ大会のため全45ホールを開放させていただきます。

鹿沼市民ゴルフ大会につきましては、例年、会員の皆様のご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

本年も、5月5日の子どもの日に全45ホールを市民ゴルフ大会に開放させていただくこととなりますが、日頃より倶楽部の円滑な運営のために何かとご支援をいただいております鹿沼市民の皆様への謝恩行事でございますので、鹿沼市以外の会員の皆様には、何卒よろしくご了承賜りますようお願い申し上げます。

会員諸氏からのご寄贈品の数々、ありがとうございます。

昨年秋より本年2月にかけて、会員諸氏より倶楽部へ下記の品々をご寄贈賜りました。心より厚く御礼を申し上げます。

相見 倉三氏 (川口市)

「倶楽部マーク・プレート(鑄造)」

岡村 岑生氏 (国立市)

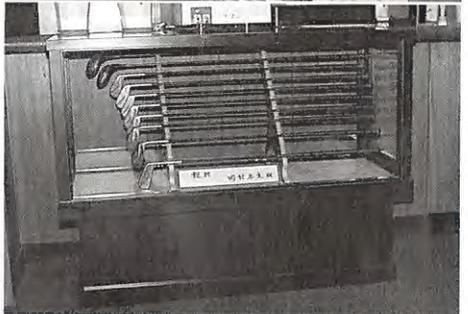
「クラブ(プリストル)1900年代初頭製作」

小野 昭司氏 (東京都)

「錦鯉100尾」



相見倉三氏より寄贈の  
倶楽部マーク(フロント)



岡村岑生氏より寄贈の  
クラブ(二階食堂)



小野昭司氏より寄贈の  
錦鯉(ハウス裏手の池)

# 4月1日「ルール大改正」の要点

## ドロップ、拾い上げの方法など、ゴルファー必読

来る4月1日より、ゴルフルールが改正されることになりました。今年の改正は32年ぶりといわれる大幅な改正で、ゴルファーも“勉強”が要求されます。まごつくことのないよう、熟読の上、今から頭に入れておきましょう。

### 〈ドロップ〉

今までホールに向かって直立して、自分の肩越しにドロップしていたのが、

新規則では、「プレーヤーは直立し、球を持った腕をまっすぐに伸ばし、肩の高さでドロップすることが要求されている。そのプレーヤーの直面する方向については制限はない。もしドロップした球が地面に落ちる前や後にプレーヤーに触れた場合は、その球を再ドロップしなければならない……」

この場合、腕は体の正面に伸ばしても、横に伸ばしてもかまわない。「ドロップ予定地点」よりホールに近づかないよう、正確に落とせばいいわけだ。そして、何も体の正面をグリーンに対して直面させなくてもいい。手を伸ばし、肩の高さに持ったボールを中心に、どこを向いてもいい、ということになったのである。

### 〈球の拾い上げ〉

現在まで、規則では、グリーン上の球を拾い上げる前にその球の位置をマークすることを要求していたが、それ以外の所では要求していない。

新規則では、「コース上のどこでもリプレースしなければならない球は、拾い上げる前にその位置を必ずマークしなければならないと規定している」

### 〈球のリプレース——球のライが変わる〉

旧規則では、もし、球のプレースまたはリプレー

スするライが変えられている場合、その球は、2クラブレングス以内で初めに止まっていた所に最も似た、最も近いライにプレースしなければならなかった。

新規則では、「その2クラブレングスが1クラブレングスに縮小され、またバンカー内では、初めのライを再現して、そのライに拾い上げた球をプレースしなければならないことになった」

つまり、バンカー内の同じような所にボールが2個あった場合など、自分のボールを拾い上げて相手が打ったあと、初めのライを“復元”して、そのライに拾い上げた球をプレースしなければならない。

（初めが目玉なら同じように目玉に、平らだったら削りとられた砂をまた平らにしなければならない）

### 〈プレーに適しない球、球の識別〉

今までのように「このボールはプレーに適さないから取り替えるよ」といって気軽に拾い上げてはいけない。

新ルールでは、「どんな場合にも、自己の球の拾い上げを希望するプレーヤーは、マッチプレーでは相手、ストロークプレーではマーカーまたは同伴競技者に、その拾い上げと、リプレースを監視する機会を与えることが要求されている。また、プレーに適



しない球に関する規則の場合、その拾い上げた球を調べる機会を与えることも要求されている」

つまり、ちゃんと相手、マーカーがチェックしたうえでないと何もできないということなのである。

#### 〈プレーを妨げ、または援助する球〉

新規則では、プレーを妨げ、または援助する球に関する規則は1ヵ所に統合されている。以前には、シングルのマッチプレーでは、もし相手の球がホールの近くにあり、そしてプレーヤーが自己の援助になると考えた場合は、そのプレーヤーは相手の球をその場に置いておくように要求することができた。

新規則では、「すべての形式のプレーにおいて①プレーヤーは、他のいずれかのプレーヤーの援助になると考えたならば、自己の球を拾い上げることができる。また、②プレーヤーは自己のプレーの妨げになると考えるか、または他のプレーヤーの援助になると考えたならば、他のいずれの球でも拾い上げてもらうことができる」

#### 〈プレーの順序〉

旧規則では、ストロークプレーの競技で打順をまちがえてプレーしたプレーヤーは、故意にティグラウンドから順序にしたがわずプレーした場合を除いて、いかなる罰の対照にもならなかった。

新規則では、「競技者たちが彼等のひとりにアドバンテージを与える目的で打順を変更してプレーすることを同意しないかぎり、ティグラウンドまたはどこからでも打順をまちがえたプレーに対しても罰を課さないことになった」

ストロークプレーの場合、もたもたしているプレーヤーがいたら、こっちが先に打ってもいいということである。遠球先打というゴルフのセオリーも、故意でないかぎり、なくなってしまったということなのだ。故意というのは、例えば、同伴競技者のだれかを有利にさせてやろうという意志があった場合などである。

#### 〈穴掘り動物の作った穴〉

新規則では、「もし球がウォーターハザード内に止まった場合、そのプレーヤーは、もはや、穴掘り動物、は虫類または鳥類の作った穴で球のライまたはスタンスに障害があっても救済を受ける権利は認められない。

この変更と障害物の規則上の同様の変更の影響するところは、もしプレーヤーの球がウォーターハザード内に止まった場合は、動かせる障害物ときわめてまれな修理地の場合を除いていかなる物件または状態からも救済を受ける権利は認められないということである。

動かせない障害物、カジュアルウォーター、修理地および穴掘り動物の穴からの救済を与える各規則に対しては、(a)もし明らかに、すべての他の状態にする障害のために、そのプレーヤーがストロークすることが無理な場合、または、(b)障害物が不必要に変則なスタンス、スイングまたはプレーの方向を採用することによるだけのことで生じる場合に、救済を保留するための除外例が追加された」

何とも難しい表現だが、要するにウォーターハザード内での穴掘り動物の穴は、救済にならない。そして固定障害物と修理地以外では、そのまま打てということだ。

ただし、例外が(a)と(b)にあるということである。

#### 〈練習〉

ふたつのホールの間の練習についてプレーヤーは、すべてのハザードからの練習ストローク、またはホールアウトを終わったばかりのグリーン以外のグリーン上での練習ストロークはできないが、それ以外の練習は許されていた。

新規則では、「ホールとホールとの間の練習は、ホールアウトを終えたばかりのグリーン上、あるいはその付近、またはすべての練習グリーン上、または次のホールのティグラウンド上でのパットやチップの練習に制限を許している。しかし、そのような練習ストロークは、ハザードからは絶対プレーしてはならない」

# 佐々木喜堂氏が堂々二連覇



二連覇を果たした佐々木氏(左)

## <ファーストフライト>

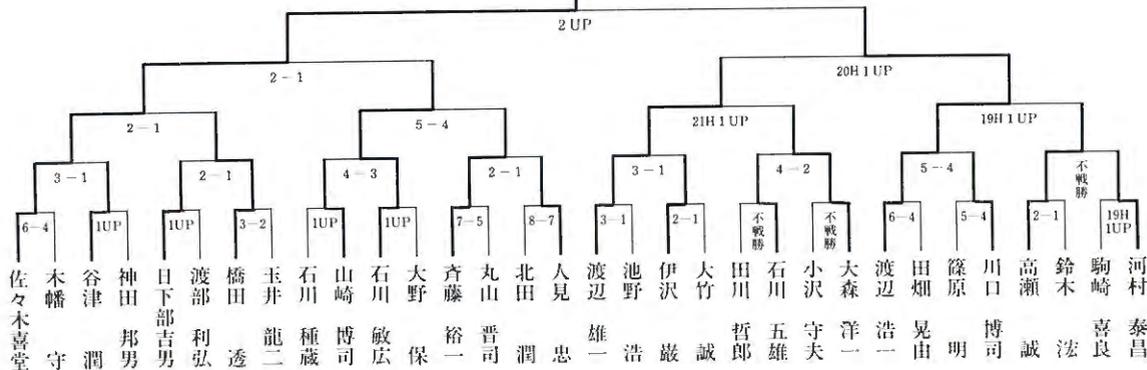
優勝	佐々木喜堂	3位	石川 敏広
準優勝	渡辺 浩一	3位	渡辺 雄一
メダリスト	佐々木喜堂		

## <セコンドフライト>

優勝	小杉 賢一(15)	3位	大高 一男(10)
準優勝	高山 庫次(9)	3位	五十嵐秀夫(10)

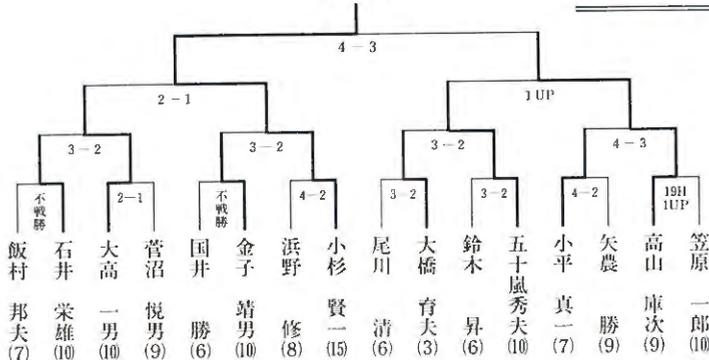
## ファーストフライト

佐々木 喜堂



## セコンドフライト

小杉 賢一



# ◆グランドセニア選手権

◆予選 10月21日(金); 決勝 10月30日(日)  
 ◆各18H.S.P(スクラッチ) 北コース  
 ◆年齢 満60歳以上

順位	氏名	予選		決勝		TOTAL
		OUT	IN	OUT	IN	
優勝	小澤 守夫	38	35	42	44	159
準優勝	田村角十郎	44	42	40	36	162
3位	青木 勝	40	41	44	41	166
4位	塩野 正義	41	42	40	43	166
5位	名見耶達夫	43	40	42	43	168



優勝の小澤氏(左)

## ◆58年9月度 月例杯 (南コース)

<Aクラス>		OUT	IN	TOTAL	HDCP	NET
優勝	車田 春男	39	38	77	12	65
2位	清水 又次	39	39	78	12	66
3位	志水 武久	39	36	75	8	67
4位	星 定夫	42	35	77	10	67
5位	北田 潤	38	39	77	7	70
6位	嶋原 康二	39	43	82	12	70
B.G	志水 武久	39	36	75		
<Bクラス>						
優勝	川北 耕士	39	45	84	17	67
2位	橋本 辰男	42	42	84	17	67
3位	坂本 暁雄	43	46	89	21	68
4位	吉田 宏	43	43	86	17	69
5位	武黒 俊治	43	46	89	20	69
6位	渡辺梅四郎	43	45	88	17	71
B.G	小沼 祥三	43	37	80		
<Cクラス>						
優勝	本沢 雄	42	44	86	27	59
2位	小山 明孝	44	47	91	30	61
3位	鎌田 勇	46	46	92	28	64
4位	塩田 正男	49	47	96	30	66
5位	篠原 忠行	46	50	96	30	66
6位	山本 喜一	49	42	91	24	67
B.G	本沢 雄	42	44	86		

## ◆58年10月度 月例杯 (北コース)

<Aクラス>		OUT	IN	TOTAL	HDCP	NET
優勝	小杉 統治	43	38	81	14	67
2位	鈴木 啓史	44	39	83	16	67
3位	石川 五雄	37	38	75	7	68
4位	志水 武久	40	36	76	7	69
5位	佐々木喜堂	35	35	70	1	69
6位	松本 五男	39	39	78	8	70
B.G	佐々木喜堂	35	35	70		
<Bクラス>						
優勝	大室 晴美	43	41	84	20	64
2位	平塚 昭広	43	41	84	18	66
3位	木村 稔	43	45	88	20	68
4位	新井 信夫	42	44	86	17	69
5位	小山清次郎	48	38	86	17	69
6位	長島 正宏	43	44	87	18	69
B.G	松枝 健造	41	41	82		
<Cクラス>						
優勝	角田 修一	45	43	88	24	64
2位	佐藤 文夫	45	43	88	24	64
3位	矢島 新一	44	44	88	24	64
4位	中沢 健次	51	44	95	30	65
5位	設楽 三郎	50	46	96	29	67
6位	本多 均	41	47	91	24	67
B.G	長岡 秀吉	47	40	87		
<58年11月度 月例杯 (南コース)>						
<Aクラス>						
優勝	倉橋 節	39	41	80	13	67
2位	河村 泰昌	39	37	76	8	68
3位	武田正之輔	44	41	85	16	69
4位	田中 良幸	43	42	85	16	69
5位	玉井 龍二	42	40	82	12	70
6位	遠藤 斌	38	44	82	12	70
B.G	佐々木喜堂	38	33	71		
<Bクラス>						
優勝	大出 三夫	44	45	89	21	68
2位	佐藤 康雄	45	44	89	20	69
3位	曾我 健次	45	46	91	21	70
4位	山口 達雄	48	43	91	21	70
5位	小林 一義	41	47	88	17	71
6位	今泉 潔	46	46	92	21	71
B.G	小林 一義	41	47	88		
<Cクラス>						
優勝	江戸 重彦	43	45	88	23	65
2位	柴山 忠次	46	49	95	30	65
3位	松隈 萬里	47	45	92	26	66
4位	清水 勝利	43	53	96	30	66
5位	矢部 一彦	52	48	100	30	70
6位	北村 省悟	46	46	92	22	70
B.G	江戸 重彦	43	45	88		

## ◆58年12月度 ラストコールド杯 (北コース)

<Aクラス>		OUT	IN	TOTAL	HDCP	NET
降雪のため中止						
<Bクラス>						
優勝	佐藤 訓夫	42	44	86	19	67
2位	海老原 博	43	45	88	20	68
3位	名見耶達夫	44	43	87	18	69
4位	篠田 勝	43	46	89	20	69
5位	平口 満	47	43	90	21	69
6位	飯沼 富郎	44	45	89	20	69
B.G	佐藤 訓夫	42	44	86		
<Cクラス>						
優勝	藤林千代明	43	41	84	22	62
2位	山口 魏	47	45	92	30	62
3位	永井 堯	45	46	91	27	64
4位	小松 千里	47	46	93	27	66
5位	黒沢 正	46	44	90	24	66
6位	新関 武男	46	45	91	24	67
B.G	藤林千代明	43	41	84		
<58年12月度 平日杯 (北コース)>						
優勝	木幡 守	39	38	77	9	68
2位	長島 正宏	42	42	84	16	68
3位	山岡 幸男	41	40	81	12	69
B.G	木幡 守	39	38	77		
<59年度 新年杯競技 (南コース)>						
優勝	伊藤 莊平	50	46	96	30	66
2位	鈴木 久夫	44	48	92	25	67
3位	小菅 光雄	39	44	83	15	68
4位	加藤 芳郎	45	46	91	23	68
5位	高橋 正明	41	48	89	21	68
B.G	佐々木喜堂	35	37	72		
<59年1月度・2月度 月例杯>						
降雪のため中止						



今月のゴルフ・マナー

ホールアウトしたら  
すばやくグリーンを立退きましょう



鹿沼カントリー倶楽部